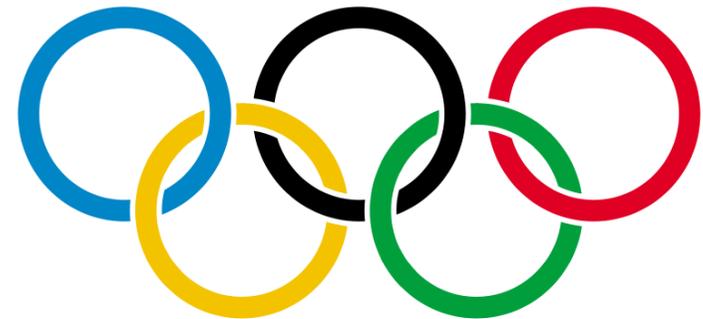


「Sport Policy for Japan 2012」発表資料

2030年夏季東北ユースオリンピック 招致に向けた提言

立教大学 松尾ゼミB
加茂祐樹・廣木隆志・二口明香里



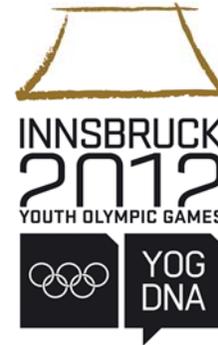
目次



<http://blog.livedoor.jp/nob11/archives/51771746.html>

- 緒言
- ユースオリンピックの現状と課題
- 2030年夏季東北ユースオリンピック招致策の理念とプロセス
- 「ユースオリンピックサポーター発掘・支援プロジェクト（YOSプロジェクト）」

■ 緒言



- ◎ オリンピックイヤーの2012年、オリンピックが注目されている
- ◎ オリンピックのほかにパラリンピック、スペシャルオリンピックなどがある



- ◎ 2010年からユースオリンピックが開催されている

■ユースオリンピックの現状と課題

ユースオリンピックとは？

◎ ユースオリンピック (Youth Olympic Games)

⇒ 14歳から18歳までのアスリートを対象とした国際総合競技大会。IOCのジャック・ロゲ会長が2007年に提案した。(JOCホームページより引用)

☆ユースオリンピック情報☆

- 第1回夏季シンガポール大会 (2010/8/14~26)

⇒約3,600人が参加、26競技201種目

- 第2回冬季インスブルック大会 (2012/1/13~23)

⇒1,059人が参加、7競技63種目

ユースオリンピック開催経緯

- ① 若者のスポーツ離れを食い止めるため
- ② アンチドーピング

このような問題に対応する手段として

「スポーツを通して心身を向上させ、さらには文化・国籍など様々な差異を超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する」(クーベルタン)

という**五輪精神**は有効であるとロゲ会長は考えている。

文化・教育プログラム（CEP）

◎ ユースオリンピックの理想

「スポーツ・文化・教育が一体となったイベントを実現すること」

⇒そのため、競技会と並ぶ重要な要素として「文化・教育プログラム（CEP）」を実施

～コンセプト～

「学び」、「貢献」、「交流」、「称賛」

～教育テーマ～

オリンピズム、能力の開発、幸福で健康的なライフスタイル、社会的責任、豊かな表現

～具体内容～

- ・アイランドアドベンチャー（第1回夏季シンガポール大会）
- ・持続可能性プロジェクト（第2回冬季インスブルック大会）

ユースオリンピックが抱える課題

- ◎ 日本での知名度の低さ
- ◎ 文化・教育プログラム（CEP）の一時性
- ◎ 本質的な理解に至らない

東北の現状

- ◎ 東日本大震災、福島原発事故の影響で日常的なスポーツが「できない」状態に
- ◎ 子どもたちが体を動かしたくても外で遊べない
- ◎ コミュニティがばらばらに（他県への移住）



- ◎ スポーツによって東北を再興できるのでは？
- ◎ 若い力が復興のカギを握る



<http://www.unesco.or.jp/kodomo/news/2011/2941122042112.html>

そこで . . .

東北でユースオリンピックを
開催してはどうだろうか？

■2030年夏季東北ユースオリンピック招致策の理念とプロセス

なぜユースオリンピックか？

- ◎ 14～18歳という日本、世界のこれからを背負っていく若者（Youth）に**スポーツの持つ力、可能性**に気づいてほしいから

世界中の人とふれあう→→他者理解→→
心の成長（人間的成長）→→世界平和
※スポーツというソフトだけで人々が繋がりをあえる
感覚

- ◎ 復興モデルを「子ども」の成長とともに達成できる

なぜ2030年か？

- ◎ 東日本大震災から1年経った2012年に生まれた子どもが2030年のユースオリンピックで18歳となり、チームの核となる
- ◎ 18年間を通して、選手やサポートメンバーとしてユースオリンピックにおける中心的な役割を担えるようにサポートする
- ◎ 長期間のサポートによって、日本のスポーツに対する意識を変容させる（競技スポーツ観からスポーツを通じた人間教育へ）

なぜ東北か？

- ◎ 東日本大震災からの復興の一つのゴール（指標）になる
- ◎ 開催に向けたインフラ整備により、復興スピードの加速が見込まれる
- ◎ 「“平和” “環境” とは何か」を改めて世界中が考え直すきっかけになる
- ◎ メディアに取り上げられ、日本での知名度が上がり、ユースオリンピック出場を目指す子どもが増える
- ◎ 招致活動（国内・国際交流）によって、他者の発見や新たな自分の気づきといった被災者の「心の復興」につながる
- ◎ CEPのテーマ
⇒ “平和と環境－「自然の中に生きる人間」”

大会規模

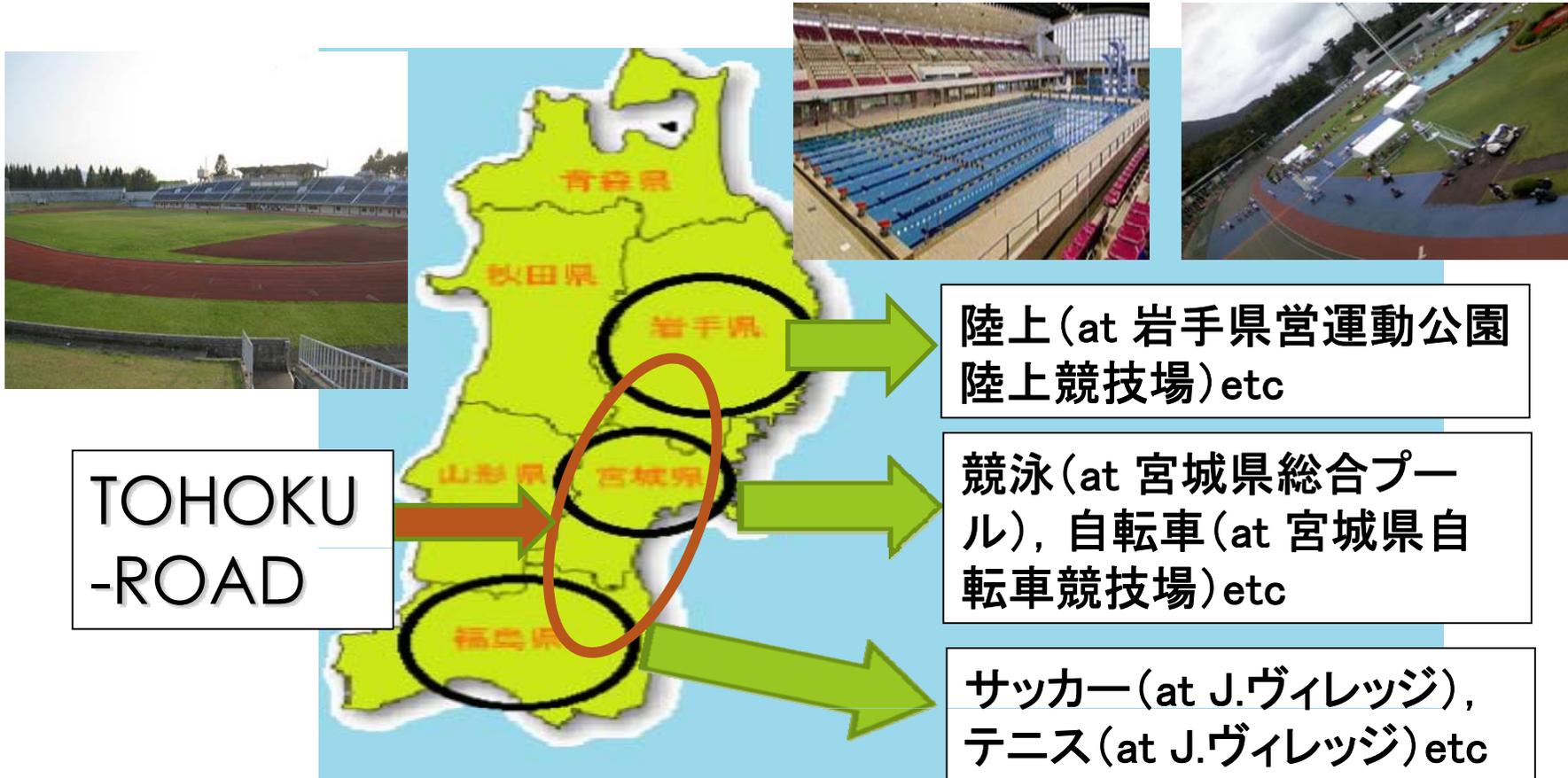
- ◎ 東日本大震災の被害が大きかった岩手、宮城、福島の3県で開催する



- ◎ スポーツ（ユースオリンピック）の力で岩手、宮城、福島が再興し、よみがえっていく姿をつくりだす

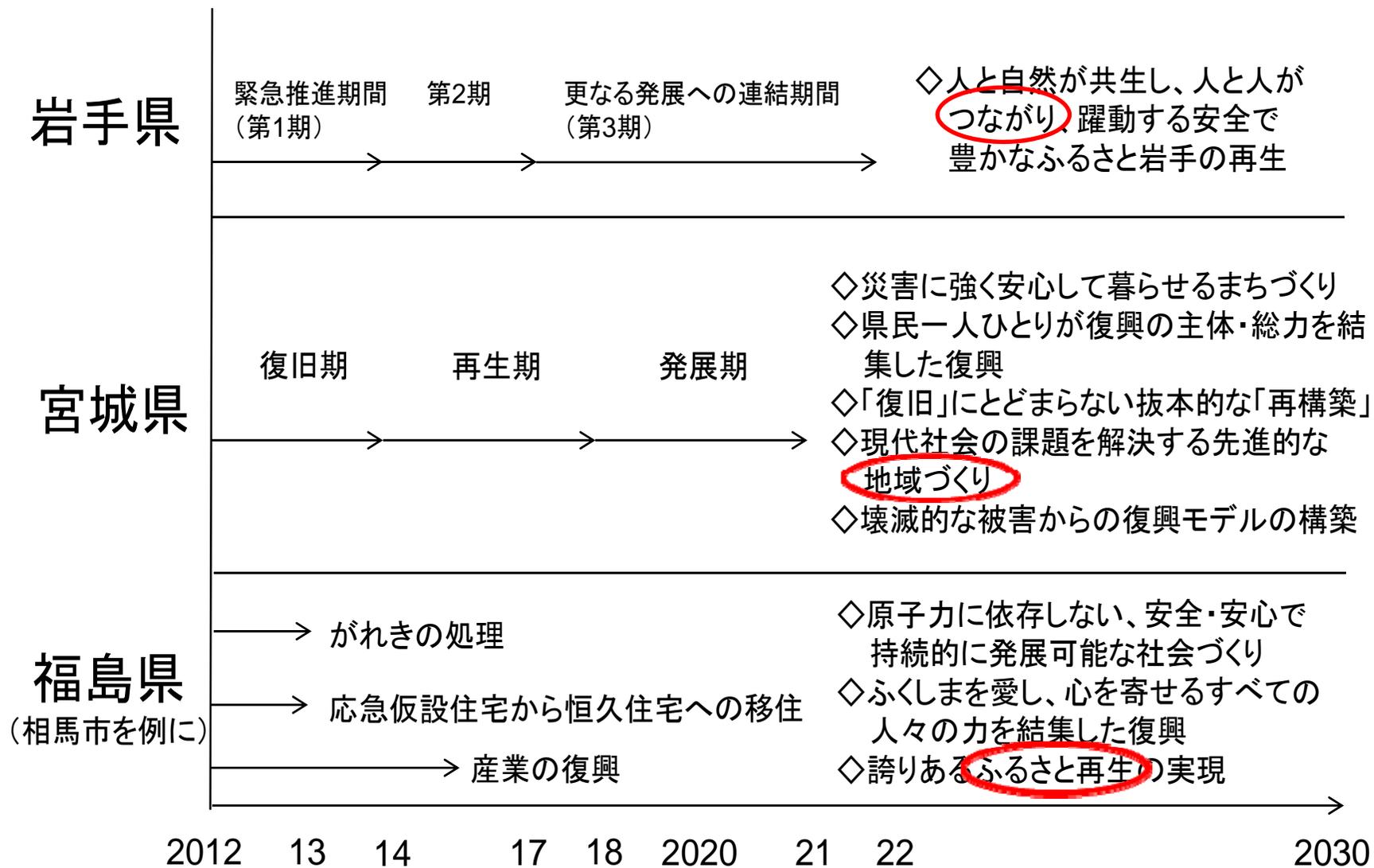
※青森、秋田、山形は3県をサポートする形をとる（物資の援助、ボランティアetc）

エリアごとに分けた会場

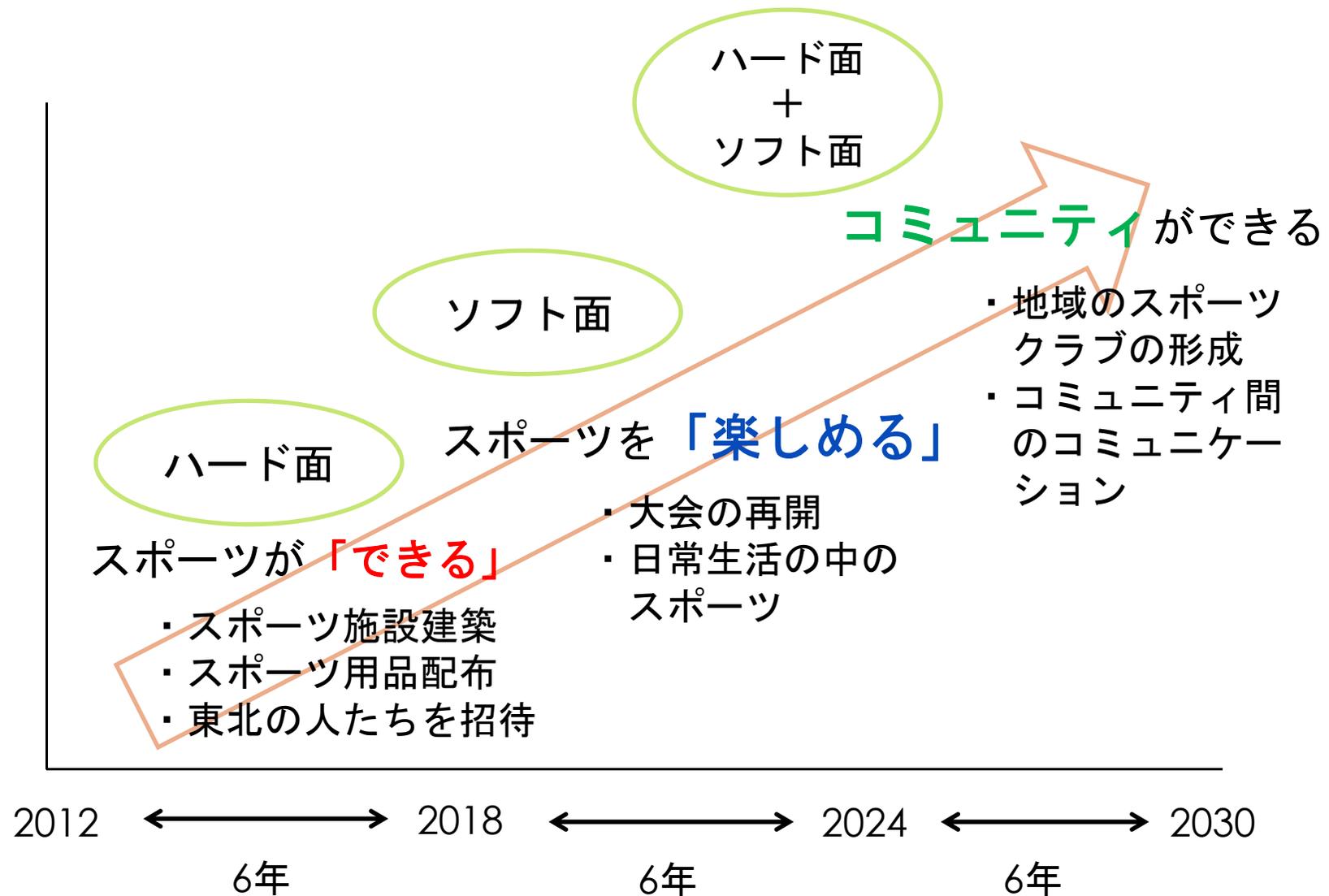


※各エリアごとに「分宿」という形で選手村を配置する
(CEPも各エリアごとに設置)

東北三県の復興計画



2030年までのスポーツビジョン

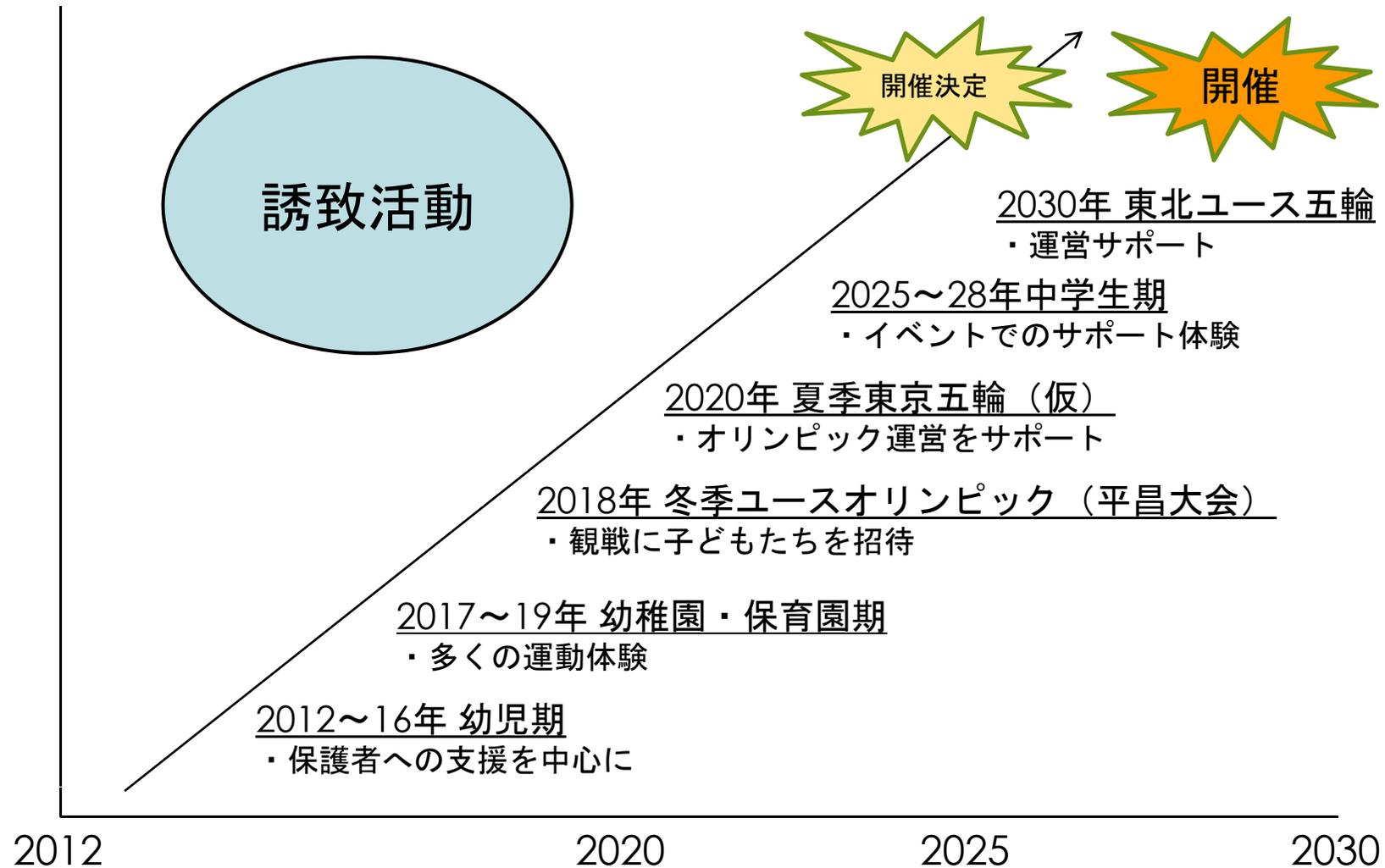


■ 「ユースオリンピックサポーター 発掘・支援プロジェクト（YOSプロ ジェクト）」

- ◎ 計画的に東北にユースオリンピックを招致する
- ◎ 段階的に子どもたちをサポートする



「ユースオリンピックサポーター発掘・支援プロジェクト（YOSプロジェクト）」の概略図



計画的にYOGを招致する

◎ 視察経験

→各都市でのユースオリンピックを視察 etc

◎ 国内大会誘致

→国体でのサポートやPRにつとめる etc

◎ 国際大会誘致

→日本と外国のスポーツ交流プログラム etc

◎ 教育プログラム招致

→東北地方の役所に話をかけあう etc

段階的に子どもたちをサポートするー①

- ◎ 「0歳からオリンピックリーダーを育てる」 (2012～2016年)
 - 幼児期は保護者への支援
 - ・ 幼児期からできるエクササイズなどのプログラム作成
 - ・ 保護者向けのスポーツ教室
- ◎ 夏季ユースオリンピック南京大会 (2014年)
- ◎ 冬季ユースオリンピックリレハンメル大会 (2016年)
- ◎ 幼稚園・保育園期に多くの運動体験 (2017～2019年)
 - 幼稚園、保育園にアスリートを派遣し、共にスポーツをするプログラムを継続的に行なう。(継続的に行うことが大事であるため東北のアスリートを中心に)

段階的に子どもたちをサポートするー②

- ◎ 冬季ユースオリンピック平昌大会に東北の子どもたちを招待（2018年）
- ◎ 小学生期にサポート・競技会
- ◎ **夏季オリンピック東京大会（2020年）※仮**
 - 開会式でマスゲーム、マスコットキャラクターの考案
 - 絵の展示
 - 東京オリンピック観戦ツアー
 - ボランティア活動



TOKYO ● 2020
APPLICANT CITY

段階的に子どもたちをサポートするー③

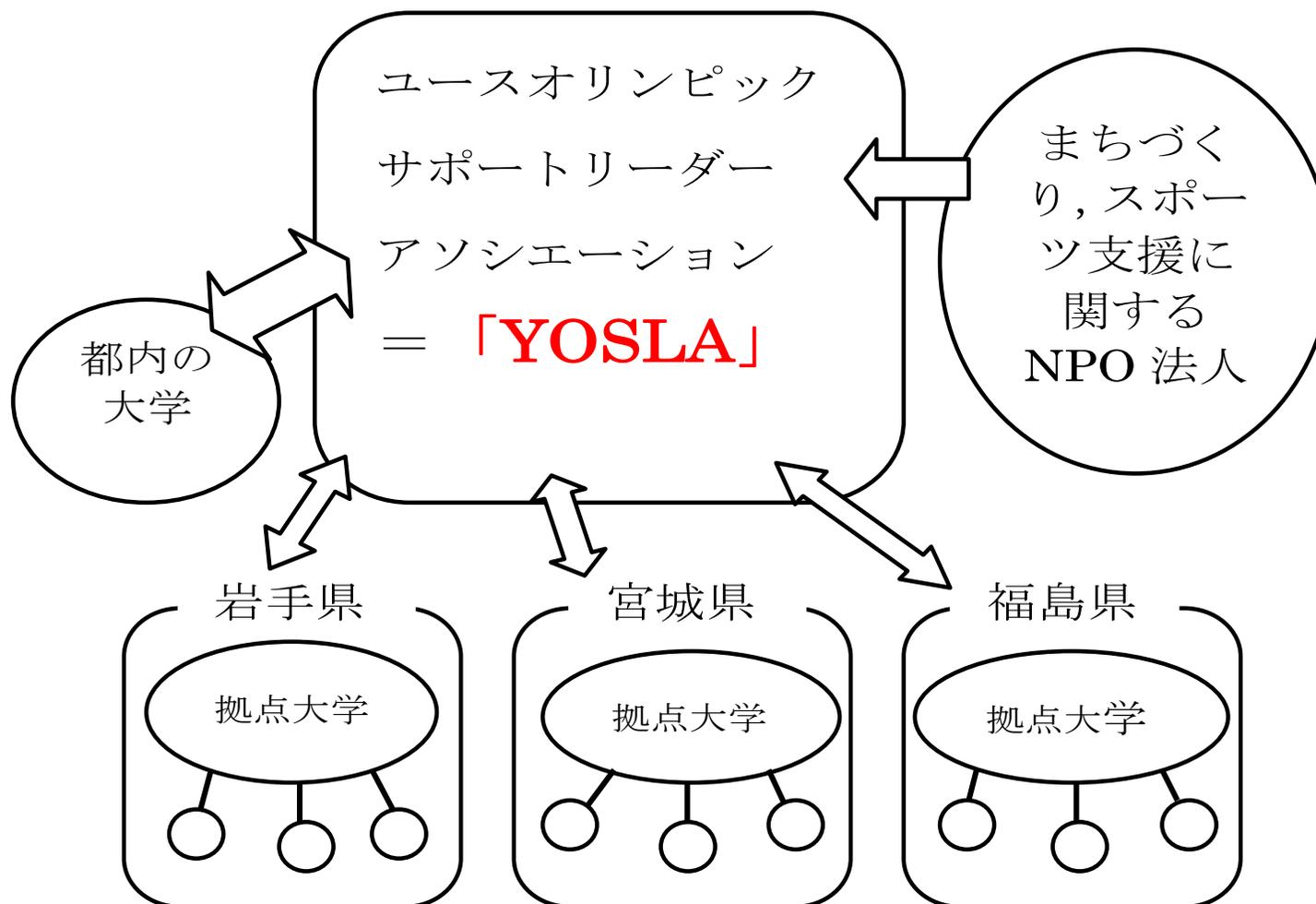
- ◎ 招致エントリー（2024年）
- ◎ 開催都市決定（2025年）
- ◎ 中学生期にイベントでのサポート体験（2025～2028年）
- ◎ 高校生期にユースオリンピック実行委員会を担う（2028～2031年）
- ◎ 東北大会（2030年）
 1. オリンピック教育プログラムリーダー
 2. 開会式の運営サポート
 3. 聖火ランナー（「TOHOKU-ROAD」を走る）
 4. CEPプログラム“平和と環境ー「自然の中に生きる人間」”

※18歳になった子どもが選手としてサポーターとしてオリンピックを創るリーダーに

大会後の展望

- ◎ 2030年の東北ユースオリンピックでサポーター、選手として関わった人たちがスポーツ・オリンピックの持つ力（物理的復興・精神的回復）を後世に伝える場の提供
 - ◎ スポーツ施設の維持費援助
- ↓
- ◎ スポーツ施設利用者の確保
 - ◎ ユースオリンピックの必要性・意義を考える

「ユースオリンピックサポートリーダー アソシエーション（YOSLA）」の組織図



参考URL

- ◎ JOC

http://www.joc.or.jp/games/youth_olympic/index.html

(最終アクセス2012/09/7)

- ◎ 国土技術研究センター

http://www.jice.or.jp/sinsai/sinsai_plan.php?dir=5 (岩手県)

http://www.jice.or.jp/sinsai/sinsai_plan.php?dir=6 (宮城県)

http://www.jice.or.jp/sinsai/sinsai_plan.php?dir=7 (福島県)

(最終アクセス2012/09/7)

- ◎ Nikkei BP net

<http://www.nikkeibp.co.jp/style/biz/abc/newword/080902>

_64th/ (最終アクセス2012/09/7)



<http://ameblo.jp/jazzbluecafe/entry-10620139486.html>

ご清聴ありがとうございました。